

県内初! /

7/5(水)

官民連携 糸魚川独自の住宅認定制度スタート

地元木材活用と住宅の高性能化を組み合わせた糸魚川独自の住宅認定制度「ISSH(イッシュ)」*が創設されました。

同制度は、糸魚川商工会議所が官民で取り組む「糸魚川産業創造プラットフォーム事業」の一環で、地元木材の利活用による地域内経済循環の実現、高気密・高断熱の高性能住宅普及によるエネルギー排出の抑制などを目的としたものであり、運用開始に伴い、糸魚川商工会議所と市は5日、事業協定を締結しました。

今後も官民連携し、地元産業の発展と、脱炭素社会実現に向けた環境に優しく快適な省エネ住宅普及を目指します。



地元企業の皆さんや関係団体が集まり、締結式が行われました

* ISSH (イッシュ) とは

Itoigawa Sustainable Standard Houseの略称。
 地材地建と住宅の高性能化を兼ね備えた糸魚川独自の住宅認定制度。
 一定の糸魚川産木材の使用や構造計算の実施、隙間相当面積、断熱性能などの基準が定められています。

問合せ先 環境生活課 環境係 ☎552-1511

7/6(木)

持続可能なまちづくり実現に向け連携

市では、今後の地域経済の発展のためには、民間の事業者と連携し、デジタル技術を活用した新たな取組へのチャレンジが必要と考え、糸魚川信用組合、糸魚川商工会議所、能生商工会、青海町商工会と、持続可能なまちづくり実現に向けた地域経済活性化に関する協定を締結しました。

締結式後には糸魚川市デジタル地域通貨振興協会(事務局:糸魚川信用組合)の設立式と役員会が開催され、今後、デジタル地域通貨導入に向け、システム整備や運用方法など調査検討を進めていく予定としています。

《糸魚川市デジタル地域通貨振興協会役員》

会長 糸魚川信用組合 平野理事長
 副会長 糸魚川商工会議所 高瀬会頭、米田市長
 監事 能生商工会 大貫会長、青海町商工会 尾崎会長

持続可能なまちづくり実現に向けた
 地域経済活性化に関する協定書 締結式



(左から) 能生商工会 大貫会長、糸魚川信用組合 平野理事長、米田市長、糸魚川商工会議所 高瀬会頭、青海町商工会 尾崎会長

問合せ先 企画定住課 企画政策係 ☎552-1511